



小郡市立大原中学校だより

大為小積



令和4年 如月15日

第26号

校長 矢野 晴一

学校教育目標：「自ら考え、自ら判断し、自ら行動しようとする子どもの育成」※「考動」

「大原中のがんばりどころは・・・！」学校評価の結果【保護者版】

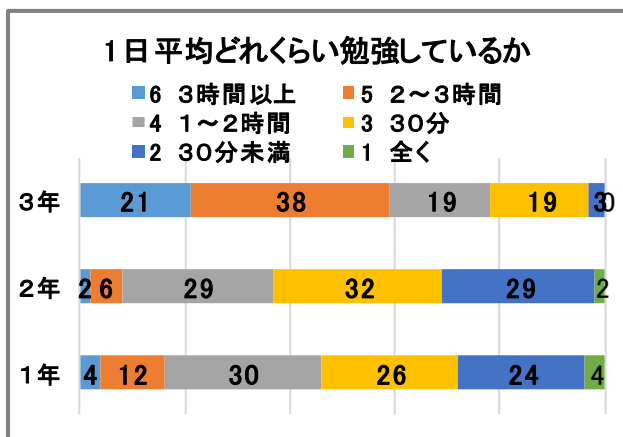
12月に実施しました「保護者アンケート」においては、たいへんご多用の中ご回答いただき、誠にありがとうございました。その結果と考察について、お知らせいたします。

保護者アンケート結果

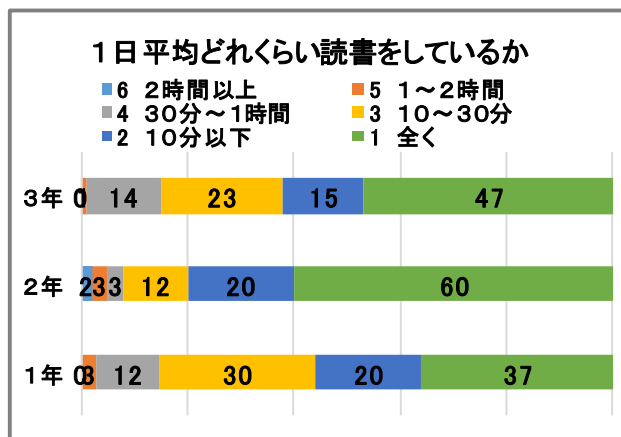
【※4段階自己評定尺度の平均値：2.5が真ん中になります。】

項	主なアンケートの問い	1年	2年	3年
学	子どもは、学校生活を楽しんでいる。	3.3	3.1	3.1
	学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	3.2	3.2	3.3
	学校は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。	3.3	3.1	3.4
校	学校は、いじめなどのない楽しい学校づくりに努めている。	3.3	3.0	3.2
	学校は、相談事等に丁寧に対応している。	3.3	3.0	3.3
	学校・家庭・地域の連携はできているほうだ。	3.1	2.8	3.1
家庭	朝自分で起きている。	2.7	2.7	2.7
	朝食をきちんととっている。	3.6	3.7	3.8
	家庭で決めた手伝いを行っている。	2.7	2.6	2.7
	学校からの便り等をきちんと渡している。	3.1	2.7	3.1

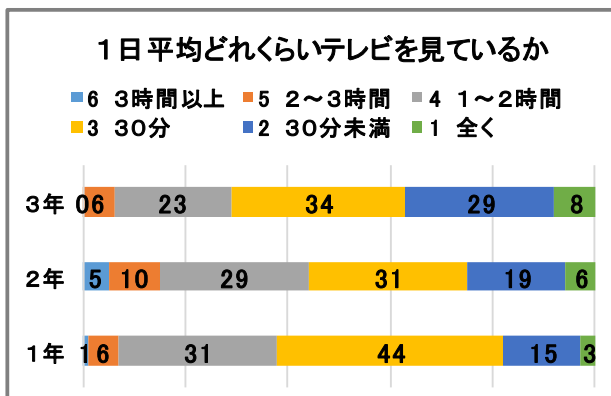
【1日の勉強時間】



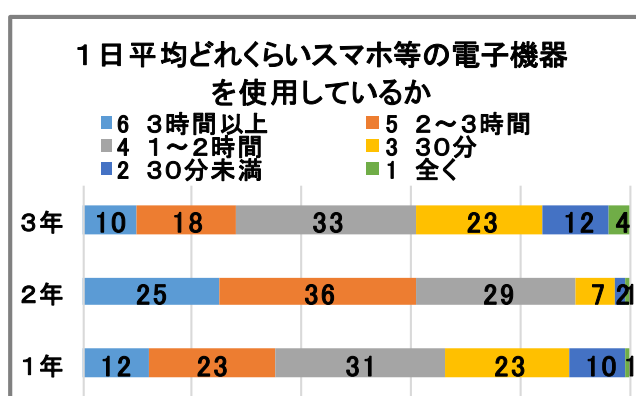
【読書の時間】



【テレビの視聴時間】



【スマホ・携帯の使用時間】



【※各グラフの数値の単位は%です。】

考 察 (ふいかえり)



さまざまな教育活動が制限されて二年が経過しようとしています。そのような状況の中で、「**学校生活を楽しんでいると思うか**」の問いに対して、各学年ともに90%近くの保護者のみなさまが「とてもそう思う」「そう思う」と回答していただいていることに、大切なお子様をおあずかりしている学校としてうれしく思いますとともに、「**子どもたちの笑顔のためにますますがんばらなければ**」と決意を新たにしております。

本年度、新たに設定しました学校教育目標である「**考動**」のもと、何事に対しても「**できないとあきらめるのではなく、何ができるだろうか、どのようにしたらできるだろうか**」ということは何度も話し合い、子どもたちとも向き合いながら大原中らしい取組を行ってまいりました。

不十分な点もあったかと思いますが、あらためて、さまざまな点でご理解・ご支援をいただいた保護者のみなさまや地域のみなさまに心からお礼を申し上げます。

これからも、「**積小為大(小を積んで大と為す)**」を合言葉に、地道にコツコツとがんばっていきたくと考えております。

さて、本年度の劇的な変化として、タブレット端末の活用があげられます。「子どもたちの**学びの充実**」や「子どもたちの**学びの保障**」を目的として、さまざまな場面で活用が進んでいますが、「**便利な情報機器は、使い方を誤ると危険である**」ということを肝に銘じて、目的や使用時間、使用上のモラル等、一人一人が考えて使うことが求められると思います。

また、スマホやネットについては、子どもたちの睡眠時間に影響を及ぼしているのではないかと心配しています。睡眠は、「学習した記憶の定着に関連する」ということが、科学的に検証されています。子どもたちには、毎朝、スッキリと起きて、元気に充実した日々を送ってもらいたいと心から願います。

「こんな状況だからこそ・・・！」 大原チャレンジ 開催

1月24日(月)、生徒会の中央委員会の企画による「**大原チャレンジ**」が開催されました。

この取組は、各学級で同じお題【国名クロスワード】に取り組んでもらうもので、みんなで協力し合って活動することを目的としています。

あらためて、生徒総会議案書をひもといてみると、「**仲間とのつながりの輪をつくり、絆を深める**」と明記してあります。

たった五分という短い時間でしたが、子どもたちも先生たちも、大原中全体が笑顔であふれており、とても温かい時間を過ごすことができたと思います。

近くで話したり触れ合ったりすることが制限される状況の中で、「**どうしたらできるか**」を懸命に考えぬいて、みんなが取り組めることを提案してくれた中央委員会に心から感謝します。



身を寄せて 力をあわせた 五分間
願いはひとつ みんなの笑顔 晴一

小さいけれど大きな感動 その26 「思いがけないプレゼント・・・！」

朝、いつものように校門であいさつを行っている時、地域の方がおみえになって、「きのうは、どうもありがとうございました」との言葉とともに、とてもすてきな**お花のプレゼント**をいただきました。

前日、その方の飼っていらっしゃる犬が校内にまぎれこんでいたのを保護したことに対するお礼にということでした。

さっそく玄関に飾らせていただいたところ、学校を訪れたお客様から「**いいですねえ。とても心が和みます**」との声をいただきました。

制限されることが多く、もどかしい思いをすることが多い中、とても温かい心遣いをいただいたことに深い感謝の念をいただきました。

ありがとうございます。

